ＦＸはじめてガイド

豊トラスティ証券株式会社

いま注目される外貨投資

なぜ外貨投資が流行っているの？

ここ数年、外貨預金、外国株式、外国債券など、外国通貨を通じて資産運用を行う「外貨投資」が人気を集めています。その理由のひとつとされているのが、1998年の外為法（外国為替及び外国貿易法）改正です。法改正によりそれまで一部の金融機関に限られていた外国為替取引が原則自由となり、一企業や個人でも取引できるようになったのです。さらに、長引く国内の低金利の影響も外貨投資ブームの火付け役となっているようです。

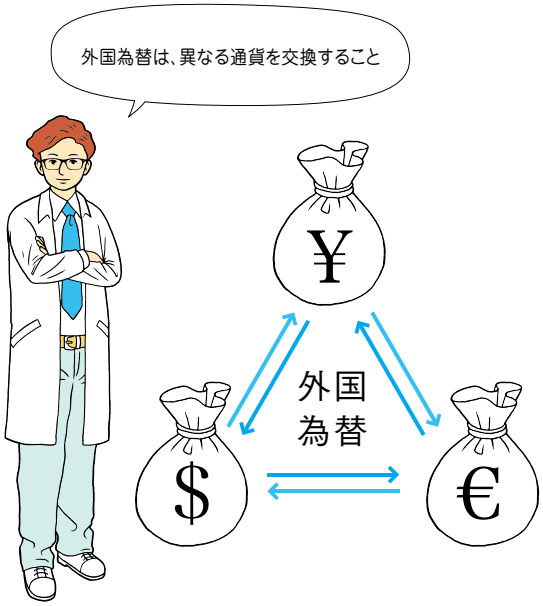
最近話題の“FX”ってなに？

これまで外貨預金が主要取引だった外貨投資のなかで、人気が急上昇しているのが「FX」。FXとはForeign Exchangeの略で「外国為替証拠金取引」とも呼ばれ、外国為替を取引してその差益によって資産を運用する外貨投資です。ほかの金融商品に比べメリットが多いことや、ドルやユーロといった身近な為替が対象という親しみやすさもあり、いま個人投資家を中心に最も人気を集めています。

FX=Foreign Exchange
外国為替証拠金取引

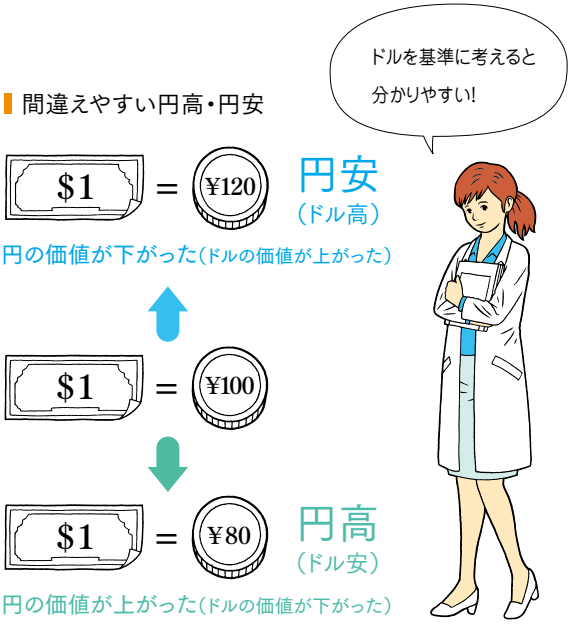
そもそも外国為替とは！

FXの詳しい説明に入る前に、まずはFXに欠かせない「外国為替」がどういうものなのか知っておきましょう。日本は円、アメリカはドル、欧州はユーロというように、世界の国々にはそれぞれ独自の通貨があります。外国為替とは、こうした「2つの異なる通貨を交換（売買）すること」をいいます。みなさんも海外旅行に行く際、日本円を外貨に両替したことがあるはずです。例えば、円をドルに両替した場合、それは「円を売って、ドルを買う」という通貨の売買を行ったことになります。実は外国為替も基本的な仕組みは、この両替と同じなのです。



円高と円安を理解しよう！

円高とは外国通貨に対して「円の価値が高くなること」、円安は「円の価値が低くなること」を意味します。例えば、「1ドル100円」だった為替相場が「1ドル120円」になった場合、100円から120円になったので円高（ドル安）と思いがちですが、正しくは円安（ドル高）となります。なぜなら、今まで100円で交換できた1ドルの商品に、これからは120円必要になるため、「円の価値が下がり、ドルの価値が上がった」＝「円安（ドル高）」ということになるのです。逆に、1ドル100円だった為替相場が1ドル80円になった場合は、「円高（ドル安）」となります。



FXは
手軽で身近な
外貨投資

「投資家にとってメリットが多いFX」

いくつかある外貨投資のなかでも、なぜいまFXが注目を集めているのでしょうか。
実は、ドルやユーロといった身近な為替が対象で親しみやすいという点のほかに、
FXには投資初心者でもはじめやすい特長がたくさんあるのです。
ここからはFXのメリットを**大きく5つに分けて**ご紹介します。

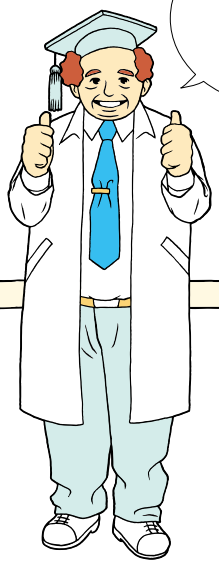
メリット1
好きなときに
取引・決済可能

メリット2
少ない資金で
大きく運用

メリット3
取引コストが
断然安い

メリット4
外貨の
種類が豊富

メリット5
円高・円安
どちらもチャンス

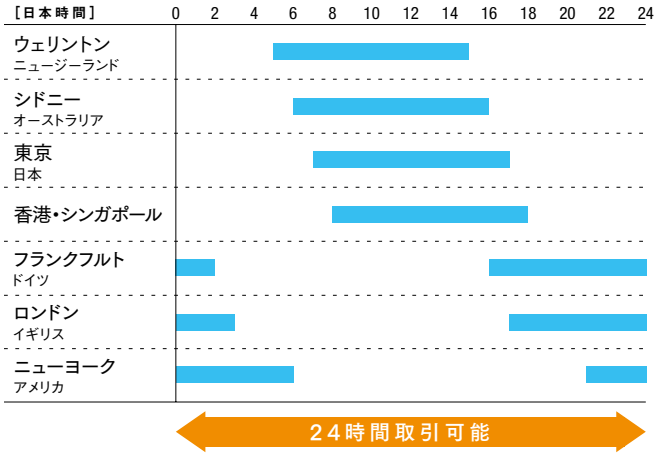


1 好きなときに取引・決済可能

24時間いつでも取引できる

取引時間が限られている外貨預金や株と違い、世界中で取引されているFXは24時間眠らないマーケット。早朝に開くオセアニアのウェリントン市場にはじまり、朝から昼は東京市場、夕方から欧州やロンドン市場に移り、夜間はニューヨーク市場と、いつも世界のどこかで市場が開いています。そのため、インターネット環境さえあれば24時間いつでも取引することができます。昼間は会社に勤めている方でも、帰宅後の空き時間などを活用すれば、生活スタイルに合わせて充実した取引が可能です。

各市場の主要取引時間



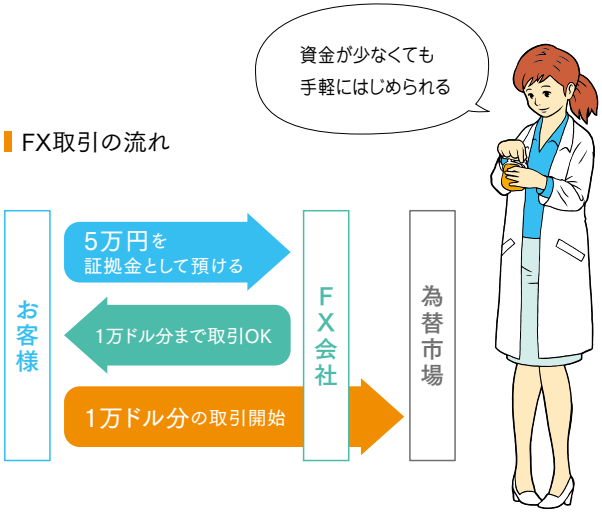
決済時期は自由に決められる

投資商品の多くには、決済期限が定められています。例えば外貨預金。金利が高い定期預金型の場合、満期が来るまで円に戻すことができません。つまり、円安で投資家に得な状況であっても、結局は満期時点の為替レートで決済されてしまうのです。一方、FXには決済の期限がありません。したがって、1日だけ取引して当日中に決済をしてもいいですし、長期間じっくり保有してから決済してもいい。FXなら決済する時期を自由に決めることができます。

2 少ない資金で大きく運用

まずは少ない資金から外貨投資をはじめたいという人にとって、FXは最適な商品です。業者によって異なりますが、FXなら5万円程度の資金から取引をはじめることができます。また、預けた金額以上の取引を可能にするレバレッジをさらに活用すれば、元手の数倍から数十倍の金額を運用することも可能です。FXなら投資にまわせる資金が少なくても大きく運用することができます。

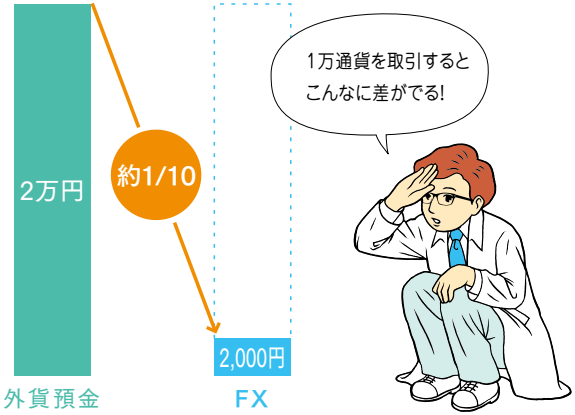
FX取引の流れ



3 取引コストが断然安い

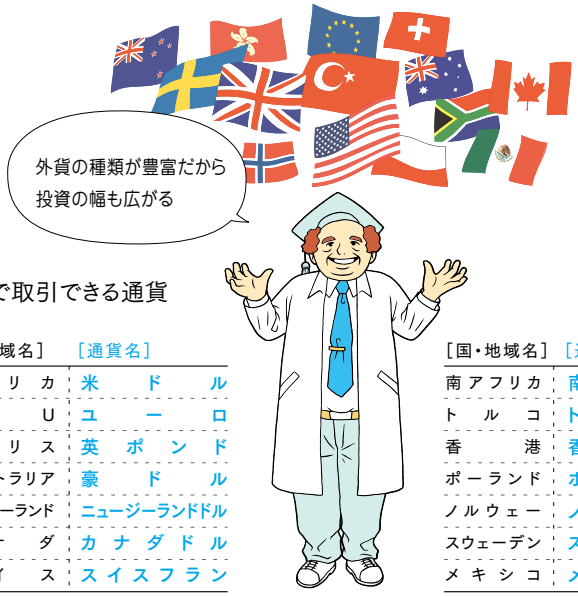
ほかの外貨商品に比べて取引コストが安いこともFXの大きなメリット。為替変動を利用した外貨投資では、コストが安いほどわずかな値動きでも利益につながります。FXと外貨預金の為替手数料を比べてみると、外貨預金では1ドルあたり往復2円程度ですが、FXなら20銭程度と格安。1万通貨あたりで考えると、手数料だけで2万円もかかる外貨預金に対してFXはたったの2,000円と、その差は歴然です。FXなら取引コストがせっかくの収益を脅かす心配もありません。

為替手数料の比較



4 外貨の種類が豊富

世界にはさまざまな種類の通貨がありますが、外貨投資ではあくまで業者が取り扱う通貨から選択することになります。外貨預金では、米ドルやユーロ、英ポンドといった主要通貨に限られる場合が多いですが、FXなら主要通貨はもちろん、ニュージーランドや南アフリカ、トルコなど、経済的にマイナーな国の通貨も豊富。特徴の異なる通貨に投資してリスクを分散するなど、幅の広い投資を行うことができます。



FXで取引できる通貨

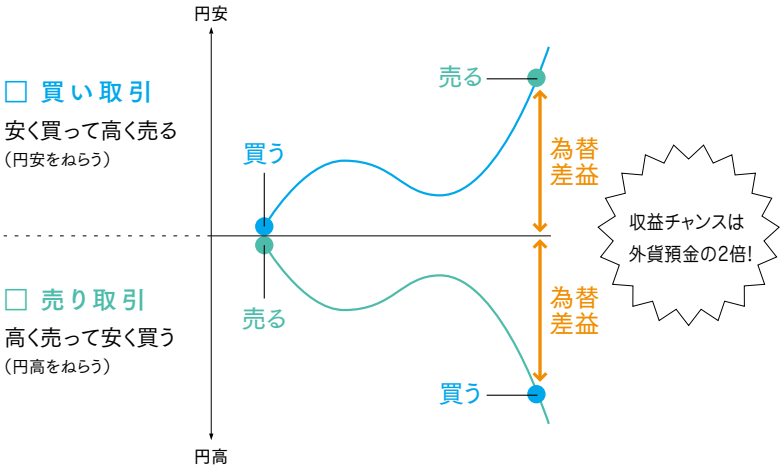
[国・地域名]	[通貨名]
アメリカ	米ドル
EU	ユーロ
イギリス	英ポンド
オーストラリア	豪ドル
ニュージーランド	ニュージーランドドル
カナダ	カナダドル
スイス	スイスフラン

[国・地域名]	[通貨名]
南アフリカ	南アフリカランド
トルコ	トルコリラ
香港	香港ドル
ポーランド	ポーランドズロチ
ノルウェー	ノルウェークローネ
スウェーデン	スウェーデンクローナ
メキシコ	メキシコペソ

5 円高・円安どちらもチャンス

FXは「買い」だけでなく外貨の「売り」からもスタートできます。図のように、「買いからの取引」では外貨の価値が上がると、「売りからの取引」では外貨の価値が下がると、為替差益により利益が発生します。相場の動きに合わせて、外貨を「安く買って高く売る」取引と、「高く売って安く買う」取引をうまく使い分ければ、相場が円高・円安どちらに動いても収益をねらうことができます。

「買い取引」と「売り取引」

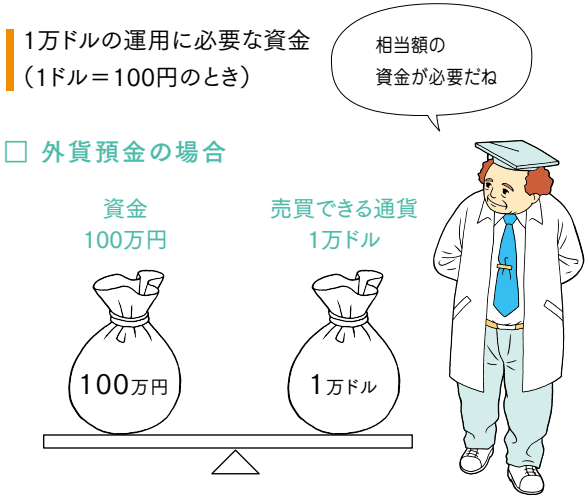


おさえておきたいFXの基本

証拠金取引ってなに？

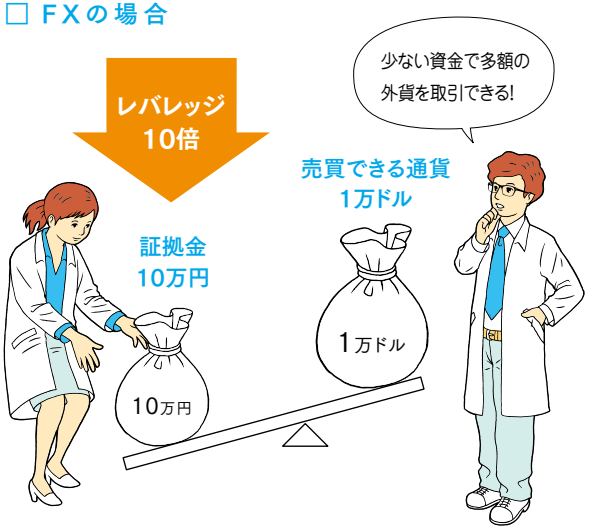
私たちがモノを買う場合、一般的にはそのモノと同額の金額が必要になります。例えば1ドル100円のときに、1万ドルを外貨預金で運用しようとすると、100万円のお金が必要になります。しかし、証拠金取引を導入しているFXなら、10万円程度の証拠金を預け入れるだけでいいのです。このように、一定の金額（証拠金）を担保として預け入れることで、売買の契約を行うことができる取引を「証拠金取引」といいます。

1万ドルの運用に必要な資金
（1ドル＝100円のとき）



レバレッジって具体的にどういうこと？

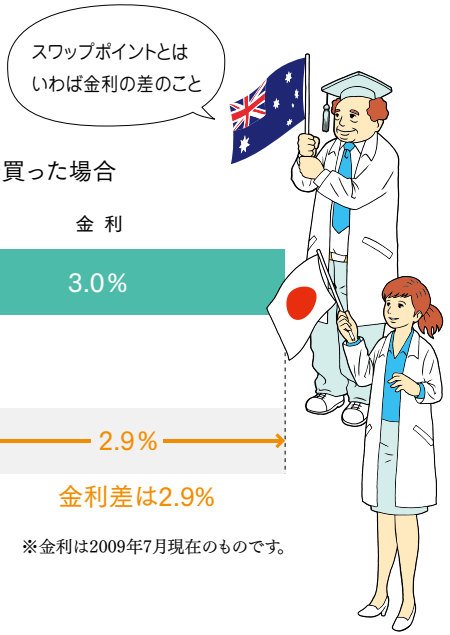
少ない証拠金で投資資金の何倍もの金額を取引できる仕組みを「レバレッジ効果」と呼びます。レバレッジとは、直訳すれば「てこの原理」。FXはこの原理を利用することで、少ない資金でも多額の取引を行うことができるのです。上述の例でいえば、証拠金10万円で10倍のレバレッジを効かせれば1万ドル、20倍のレバレッジで2万ドルを運用することができます。レバレッジの倍率によって利益も大きくなるため、FXはほかの金融商品に比べて資金効率のよい商品といえます。※



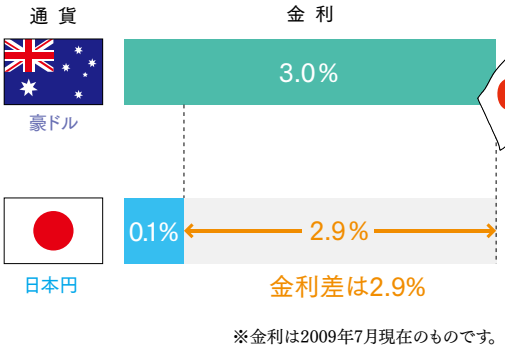
※レバレッジが上がればその分リスクも高くなり、損失も大きくなるので注意が必要です。

スワップポイントってどういう仕組み？

スワップポイントとは、異なる2つの通貨の金利差によって生じる差額のことです。長らく低金利政策が続いている日本では、預金をしても金利は微々たるもの。しかし海外では、年間3％や5％の金利がつく通貨も少なくありません。FXでは、金利の低い通貨を売り、それよりも金利の高い通貨を買った場合、その金利の差額相当分を「スワップポイント」として受け取ることができます。逆に高金利の通貨を売り、低金利の通貨を買うと、金利の差額相当分を支払うことになります。



円を売って豪ドルを買った場合



※金利は2009年7月現在のものです。

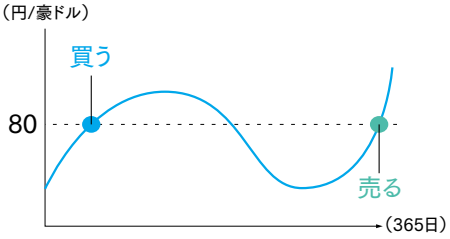
毎日たまる！スワップポイント

スワップポイントは、金利の高い通貨を保有している間、原則毎日もらうことができます。例えば、日本に比べて金利の高い豪ドルを1ドル80円のときに1万ドル買った場合、スワップポイントは1日当たり63円。この金額が毎日入ってきます。つまり、この豪ドルを1年間保有し同じレートで売ると、為替差益が±0でも、スワップポイント益だけで年間2万2,995円を儲けることができるのです。このようにFXでは、収益チャンスの高い通貨を中長期で保有することで、金利差収入を狙うことができます。

スワップポイントのシミュレーション

豪ドル＝80円のとき1万ドルの運用で
1日にもらえるスワップポイントは…

80円（買値）×1万豪ドル（取引単位）×2.9％（金利差）÷365≒63円（スワップポイント）



1年間保有し、同じレートで
1年後に売れば…

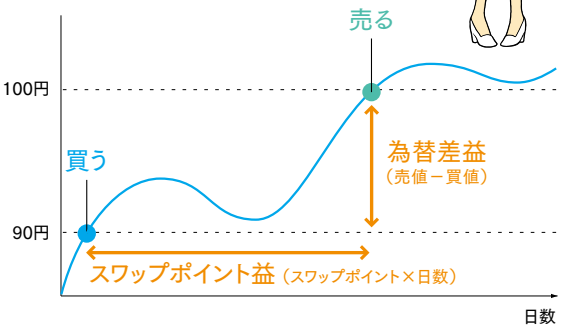
63円×365日＝2万2,995円（金利差収入だけで）
（手数料等は除く）

取引をはじめてみよう

2種類の収益がねらえる！

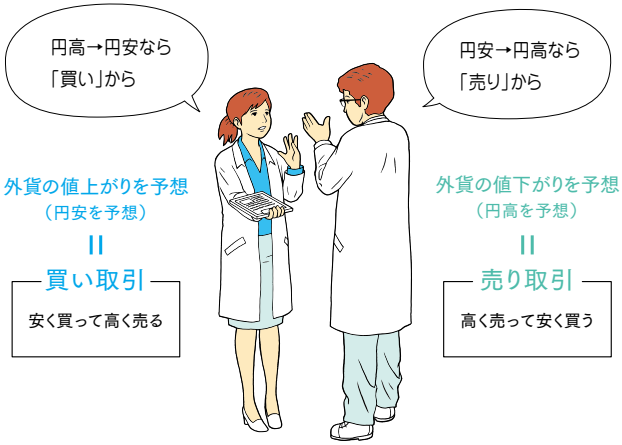
FXでねらえる収益は2つ。1つは、通貨を売買したときの為替相場の差によって生じる「為替差益」。2つめは、高金利通貨を買って低金利通貨を売ることで得られる金利の差額「スワップポイント」です。FXではこの2つの収益が重なるときがベストの状態ですが、両方の収益がマイナスに転じることもあります。経済状況や金利など、各通貨によって値動きの特徴や変動要因は異なるため、投資する通貨とFXの基礎知識をしっかり身につけたうえで取引をはじめましょう。

為替差益とスワップポイント



まずは「買い」から？「売り」から？

取引をはじめる場合、「買い」と「売り」のどちらからはじめればよいのでしょうか。簡潔にいえば、外貨の値上がりを予想するなら「買い」から、値下がりを予想するなら「売り」からスタートしましょう。ドルの場合であれば、今後ドル高（円安）になると思えば「買い」、ドル安（円高）になると思えば「売り」から取引をはじめることになります。そして、予想通りに為替が動いたところで決済すれば、利益を得ることができます。



忘れてはいけない！
FXのリスク

【為替変動リスク】

為替には値幅の制限がなく、相場の状況によっては短期間で大きく変動する場合もあります。予想とは反対の方向に相場が動けば損失が発生します。また、FXでは預け入れた証拠金額以上の取引ができるため、損失が証拠金を上回る可能性もあるので注意しましょう。

【金利変動リスク】

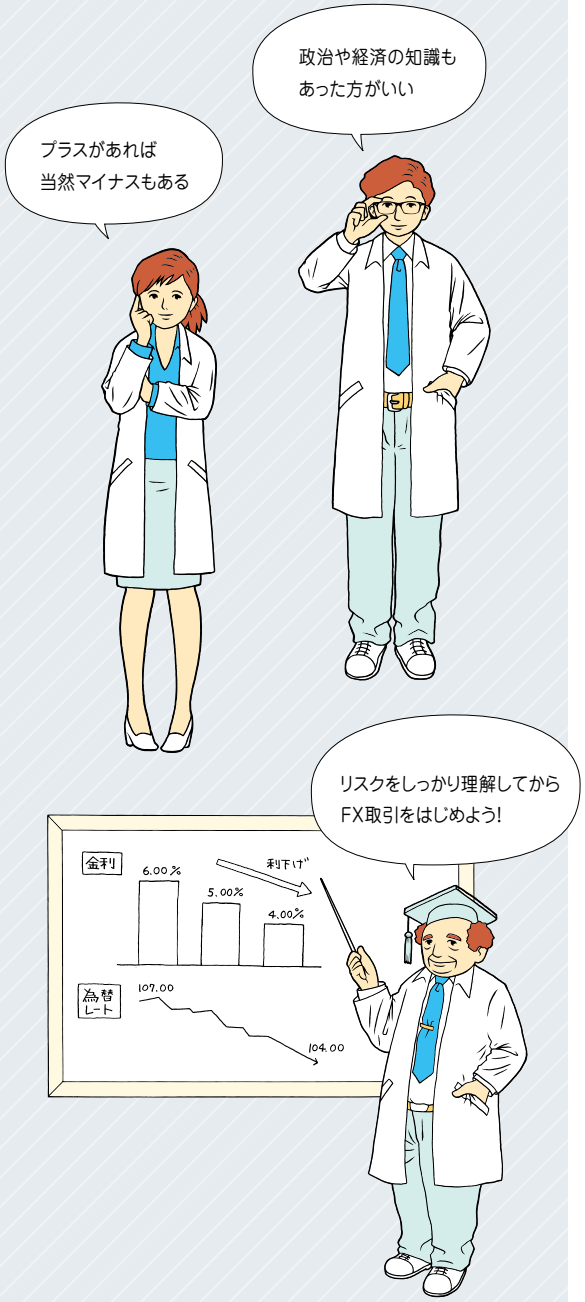
為替相場の変動要因のひとつである金利。この金利差を利用したスワップポイントについても注意が必要です。各通貨の金利は、各国の経済状況や金融政策に影響されているため日々変化します。それに伴い、受け取れるスワップポイントも変化し、時には受け取りが支払いに転じる場合もあります。

【高レバレッジは要注意】

少額の資金で取引できることはFXの魅力のひとつですが、初心者のうちは極度に高いレバレッジは控えた方がいいでしょう。レバレッジの倍率を高くすれば、効率よく大きな利益を上げることができます。しかしその分、思惑に反して相場が動いた場合は損失も大きくなります。

【損失を防ぐストップロス注文】

投資においては、いかに損失を抑えるかが重要になります。そこで役立つのが「ストップロス注文」です。これは、あらかじめ損失限度額を指定しておくことで、指定した値段になったら自動決済し、損失を限定させる方法です。ストップロス注文をしっかり活用すれば、もし予想が外れたとしても、大きな損失を避けることができます。



豊トラスティ証券株式会社
〒103-0014
東京都中央区日本橋蛎殻町1-16-12
TEL：03-3667-5211
www.yutaka-trusty.co.jp